

『かわら版』
第22回

「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

「セーフコミュニティ」について詳しく知りたい方は、市HPをご覧ください♪



「セーフコミュニティ」は、みんなの身近に起こっている**事故やけがを予防する取組み**のことです。
「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、**みんなが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切**です。

7分野の取組「防災・災害対策」

◆桜島大規模噴火対策◆

大正3年(1914年)の桜島の大規模噴火から既に100年以上経過しました。大正噴火は、明治に入って以降、国内唯一の大規模噴火で、マグマを含んだ総噴出量は約20億m³と、富士山の宝永噴火よりも多かったと言われています(噴火に伴う地震も発生し、死者・行方不明者58名)。流れ出した溶岩で、桜島と大隅半島が陸続きになったほか、約6億m³もの大量の軽石・火山灰を噴出し、島内には約2mも埋もれた鳥居が災害遺構として残されています。

今後、もし、大正噴火級の大型噴火が発生し、西向きの風の場合、市街地側では約1m積もることが想定されています。2020年代には、桜島への供給源である始良カルデラに、大正噴火前と同じくらいのマグマがたまると言われていた今、あらゆる事態を想定し大規模噴火に備える必要があります。



◆東日本大震災や熊本地震で避難所の運営が課題に !!

○過去の災害を教訓に、住民主体の避難所運営訓練などに取り組んでいます。毎年1月に実施している桜島火山爆発総合防災訓練は、どなたでも参加できます。避難所での生活を疑似体験して、いざという時に備えましょう。



○上は全体での説明を行っているところです。段ボールベッドの作成をし、避難所のレイアウトを決めます。
○桜島地域コミュニティ協議会の女性部会による炊き出しで、600人分の豚汁を作りました。

◆大規模噴火発生した場合に向けて
とるべき行動(自助・共助)◆

- 大量の軽石・降灰による影響や被害をイメージする
...大規模噴火に伴う大量の軽石・降灰により、自宅や職場などに、どんな影響があるか、**防災会議を開いて**、考えてみましょう。
- 気象情報や避難情報の収集方法を確保する
...災害に関する情報を収集する方法を一つに頼るのではなく、**いくつか確保する**ようにしましょう。
...情報を待つのではなく、**取りに行くように**しましょう。
- 避難をしなければいけない場合に備える
...自宅あるいは避難所での避難に備え、**自分にとっての必需品**を、非常持出品や備蓄品として準備しておきましょう。
- 地域で防災活動を行う
...**地域の方々と一緒に**、防災対応を考えてみましょう。
...自分たちの地域で想定される被害に応じた**独自の防災計画**を作ってみましょう。



平成29年度の訓練の様子



桜島火山爆発総合防災訓練
(島内避難訓練)



避難所



噴石除去



避難誘導

桜島火山爆発総合防災訓練
(島外避難訓練)



現地災害対策本部



フェリーでの避難



健康相談



鹿児島市では、WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティに取り組み、**28年1月29日に国際認証を取得**しました。

鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課 セーフコミュニティ推進係(市役所東別館3階)
TEL: 099-216-1512 FAX: 099-226-0748